

# 町報 てんのう

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135  
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

町のうごき

本籍数	4,554
本籍人口	14,846
世帯数	3,426 (3,424)
住民登録人口	13,615 (13,576)
内 男女	6,594 7,021

1月1日現在  
( )は12月1日現在

## 町長交際費について

天王町長 藤原慶三郎



町民の皆さん、いかがお過ごしですか。新春気分もさめやらぬうちに、早いものでもう一カ月の月日が経過してしまいました。

私たちは、今四十七年度の町予算の編成中であり、昭和四十七年度は、本町にとってドルショックによる産業界の不況や町民税、固定資産税の標準税率の実施等により、実にきびしい財政事情であります。いかにして消費的経費を節約して、生活環境や福祉増進に充当して町民の期待にこたえるべきか、懸命の努力をしております。

私があえて筆をとりましたのは、町民各位に正しい事実を知っていただきたい一念からであります。また、ある議員が「町長交際費(三十五万円)増額に反対」と、断片的、部分的に報道しておることに対してであります。

突然のご来客や冠婚葬祭、転勤等のつきあいのため、思わぬ出費があるように、町でも、いろいろ県、市町村とのつきあいやよりよい行政効果をあげるための対外的費用が必要であります。

それらは、当該地方公共団体を代表する町長の必要経費、すなわち交際費の名目で、行政執行や外部と公の交渉をするための経費として、地方自治法第二百三十二条に定められております。法に従い、金額はその年度の事業計画等を考慮し、議会の議決を経て決定するものであります。町長がかってに決め、かってに使用するものではありません。

交際費は、各町村の財政規模や行政機構や慣習等により、一口に論ずることはできませんが、(別表) 45年度決算より

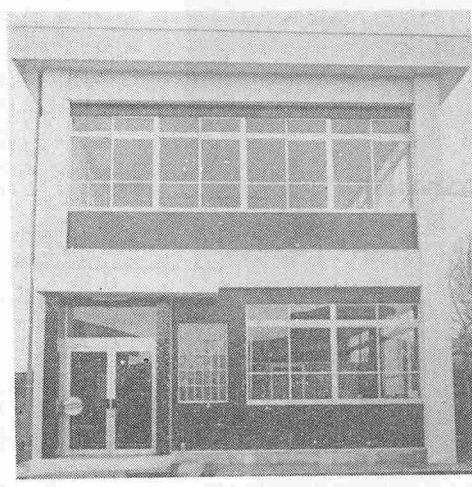
町村名	歳出総額 (千円)	交際費 (千円)	人口 (人)	人口一人当たり 見た交際費の割合 (%)
天王	三九四、七五〇	九五〇、二二	八三七	七四〇・二四
井川	二六三、七一	〇二八	六六九	一五四〇・三九
若美	三六八、六七	二九三、〇	二八二	二九〇・三五
昭和	二七八、九一	八二七、〇	二〇二	一七九〇・六六
飯田川	一三八、五二	八五三	六四〇	一五一〇・六二
八郎潟	二九四、二四	九九六	一八九	二二〇・三四
五城目	六一〇、一三	九九二、七	四一三	二一七二〇・四九

(交際費の県平均は約一、六〇〇千円)

町政に關し、真実を伝えることなく、断片的、部分的に報道されたり、話されたりして全体をそこなうことがあるとするならば、我々としては、はなはだ残念でなりません。

## 商工会館が完成

= 1月17日 =



▲りつばにできあがった会館

町商工会(三浦兼吉会長)では、昨年の十月一日から工事にとりかかっていた「天王町商工会館」が一月十七日に完成、同二十七日に祝賀会を行ない、その完工を祝った。

# 標準小作料決まる

## 農業委員会

これまで農地の小作料は、農林省令で定める基準にしたがい、農業委員会が、一筆ごとにその最高額を定め、その最高額の範囲内でしか契約をしてはならないことになっていました。

しかし、一昨年の農地法の一部改正により、原則として当事者の自由な契約にまかせることになりましたが、その地域の農業事情を前提とした妥当な小作料の水準があれば、これを標準として当事者が話し合せて決めることができるでしょう。

このようなことを考慮して、

二月十六日から町、県、国税の「所得申告指導」を行ないま

昭和四十七年一月一日現在で本町に住所を有する人の他、住民登録の有無によらず、実質的な生活の本拠が本町にある人も申告義務者となります。

申告には、世帯主でなくても必ず一世帯一人は出てくださいます。三月十五日までに申告しないときは所得認定をうけ、大変不利になりますので、積極的に申告するようにお願いします。

なお、所得税申告者、事業税申告者は町民税申告をする必要がありません。また、事業税申告者で、営業以外の所得もある人については、事業税申告会場で町職員が申告を受理します。

### 申告指導日程

（贈）は贈与税、（町）は町民税、（事）は事業税、（所）は所得税申告です。

## 申告指導日程決まる

### 町、県、国税

- 上出戸分館
- 二月二十四日 出戸新町(町)
- 出戸新町分館、細谷(町) 細谷分館
- 二月二十五日 下出戸(町)
- 下出戸分館
- 二月二十八日 蒲沼(町) 蒲沼分館、児玉(町) 児玉分館
- 二月二十九日 二田八区(町)
- 二月二十九日 二田児童館、二田十一区 鶴沼台(町) 小野克太郎宅

- 三月十三日 天王本町、下町 旭町、東荒町、西荒町(町) 戸主会事務所
- 三月十四日 天王曲町下、曲町上、曲町上第二、上荒町、神明町(町) 戸主会事務所
- ※時間は、各日とも午前九時半から午後三時半までです。

選管委員長に菊地氏  
十二月二十八日付で、町選管管理委員会委員長の鎌田悦郎氏が一身上のつごうにより辞任され、一月七日に開かれた委員会で、その後任に同委員である菊地栄治郎氏が選任された。また、原五兵衛氏が選任された。鎌田氏は、三十六年来から町選管委員の職を勤め、その間、委員長七年、南秋連合会会長を三年間勤めその功績は大きい。新委員長になった菊地氏は、

地域民の協力で分館が完成  
追分分館  
追分分館(中田兼太郎分館長)が、町、県補助のほか地域民の募金など、理解ある協力でのほど完成した。

献血ありがとう  
1月10日  
【役場】中泉作右衛門、柏崎金光、滑川稔、伊藤力夫、佐々木周悦、菊地政義、石黒達也、武藤守、加賀谷清、鈴木正輝、安田美子、【共済組合】丸谷昇、佐藤鈴子、【天王郵便局】吉田三男、【塩口】米谷利一、【渋谷】加藤十九子

### 選管委員長に菊地氏

十二月二十八日付で、町選管管理委員会委員長の鎌田悦郎氏が一身上のつごうにより辞任され、一月七日に開かれた委員会で、その後任に同委員である菊地栄治郎氏が選任された。また、原五兵衛氏が選任された。鎌田氏は、三十六年来から町選管委員の職を勤め、その間、委員長七年、南秋連合会会長を三年間勤めその功績は大きい。新委員長になった菊地氏は、

地域民の協力で分館が完成  
追分分館  
追分分館(中田兼太郎分館長)が、町、県補助のほか地域民の募金など、理解ある協力でのほど完成した。

献血ありがとう  
1月10日  
【役場】中泉作右衛門、柏崎金光、滑川稔、伊藤力夫、佐々木周悦、菊地政義、石黒達也、武藤守、加賀谷清、鈴木正輝、安田美子、【共済組合】丸谷昇、佐藤鈴子、【天王郵便局】吉田三男、【塩口】米谷利一、【渋谷】加藤十九子

## 元気にリレー

### 札幌オリンピック冬季大会聖火リレー



▲秋田市から聖火を引き継ぐ第1団の正走者三浦和也君(右)

二月三日から十三日まで札幌で開かれる「第一回オリンピック冬季大会」の聖火が、一月十七日に秋田市から本町にリレーされ、町海洋少年団とスポーツ少年団が、二区間にわたって

元気にリレーした。この聖火は、一月二日に東京から東西二コースに分けてリレーされてきたもの。団は、正走者一、副走者二、随走者十の合わせて十三名で編成され、まず、一団は海洋少年団が担当、国道七号線の追分は線橋、牛坂高橋商店前、二団はスポーツ少年団が受け持ち、高橋商店前、金足西小学校前までの合計2km。

【第一団】海洋少年団  
▲正走者 三浦和也 ▼副走者 広瀬直人、村山久尚、三浦明彦、三浦勝人、佐々木雄、桜庭雄耕、伊藤達也、伊藤哲也、工藤衛、藤原雅也  
【第二団】スポーツ少年団  
▲正走者 鈴木為彦 ▼副走者 三浦仁志、石川恵美子 ▼随走者 鈴木徹、佐々木和良、佐藤真人、鈴木功喜、石川直子、石黒妙子、石黒美佳子、安田慶幸、目黒喜代一、菅生勝也

上ノ台、蒲沼(C地域を除く) 塩口北野、一向(寺田)、ハラヘ、上出戸(天神沼)、大崎字上沖中谷地、上谷地、野沢

木台、中浜山、二田、持長根、狼緑、江川谷地(乙と地先)、池沼溜池下(開墾)、蒲沼(原野)、羽立(地先)、中羽立(地先)、江川(地先)、蒲沼(新蒲沼)、天王、羽立北野、南千濁、万六(溜池開田)

海洋少年団の鼓笛隊に合わせ、聖火をトーチで運び、無事昭和町にリレーした。当日の走者は次のとおり。  
【第一団】海洋少年団  
▲正走者 三浦和也 ▼副走者 広瀬直人、村山久尚、三浦明彦、三浦勝人、佐々木雄、桜庭雄耕、伊藤達也、伊藤哲也、工藤衛、藤原雅也  
【第二団】スポーツ少年団  
▲正走者 鈴木為彦 ▼副走者 三浦仁志、石川恵美子 ▼随走者 鈴木徹、佐々木和良、佐藤真人、鈴木功喜、石川直子、石黒妙子、石黒美佳子、安田慶幸、目黒喜代一、菅生勝也

# 有功章には柏崎氏

## 「無火災を祈願」

### 一月八日に出ぞめ式

無火災の祈願と防火思想の普及を兼ねた恒例の町消防団出ぞめ式が、一月八日町公民館に県知事代理、町長、議会議員など消防関係者多数が出席して行なわれた。

当日は、午前十時半、町内十二の分団から二百五十名の団員が会場に勢ぞろい。各分団ごとに整列し、勇壮な姿を見せ、団旗入場、国歌斉唱のあと有功章の第二分団長柏崎佐吉郎氏ほか永年にわたり功績のあった方など、八十八名が表彰を受けた。

### 県知事表彰

- ▼有功章
  - 【第二分団】柏崎佐吉郎(分団長)
  - 【第三十年動続章】
  - 【第二分団】柏崎佐吉郎(分団長)
  - 【第二分団】見玉喜市(副分団長)
  - ▼二十五年動続章
    - 【第一分団】福田富雄(分団長)
    - 松村政雄(副分団長) 大関栄治郎(班長) 佐藤哲司(同) 沢畑栄吉(同) 児玉孝雄(団員) 三浦直藏(同) 真壁養治郎(同) 堀井佐一郎(同) 大貫清之助(同)
  - ▼第三分団
    - 伊藤庄吉(分団長)
    - 藤原直一郎(副分団長) 藤原新藏(班長) 藤原勝雄(同) 藤原秀一(同)
  - ▼第四分団
    - 菊地石太郎(分団長) 菊地東太郎(副分団長) 菊地金市(団員) 菊地久太郎(同)
  - ▼第五分団
    - 三浦久之助(副分団長) 吉田伝吉(班長) 三浦五郎(同) 三浦孫四郎(同) 三

### 消防協会長表彰

- ▼十五年動続章
  - 【第六分団】鈴木美夫(団員)
  - 鈴木為春(同) 安田金春(同) 嶋崎竹市(同)
- ▼第七分団
  - 桜庭金吾(同)
  - 【第八分団】加賀谷竹雄(同)
  - 佐々木肇(同)
  - ▼第十分団
    - 戸田栄春(分団長)
    - 菅生福太郎(班長) 桜庭敦治郎(同) 戸田秋一(団員)
    - ▼第十一分団
      - 菅生市蔵(副分団長) 菅生鉄作(班長) 菅生佐之助(同) 菅生嘉一郎(団員) 菅生伊治(同) 菅生重清(同) 菅生一男(同)
    - ▼十年動続章
      - 【第七分団】桜庭金秋(団員)
      - 【第九分団】進藤信一(同) 水沢正夫(同) 佐々木鐘吉(同)
      - ▼第十分団
        - 渋谷政雄(班長)
  - ▼七年動続章
    - 【第一分団】鈴木吉美(運転手)

### 男鹿南秋支部長表彰

- ▼七年動続章
  - 【第一分団】鈴木吉美(運転手)

### 男鹿分会長表彰

- ▼第九分団
  - 成田勇三(団員)
  - 渡部喜美雄(同) 菅原敏捷(同) 菊地五郎(同)
- ▼優良団員表彰
  - 【第一分団】石井哲男(団員)
  - 【第二分団】佐藤寿雄(同)
  - 【第三分団】伊藤寿春(同)
  - 【第十分団】伊藤久悦(同)
  - 【第十一分団】菅生佐之助(班長)

- ▼五年動続章
  - 【第二分団】戸田利幸(団員)
  - 【第八分団】佐々木信男(同)
  - ▼一般功労者表彰
    - 菊地政雄(上出戸) 三浦多喜藏(大崎) 嶋崎竹治(羽立) 安田忠太郎(出戸新町) 三浦由雄(大崎) 菅生市蔵(中羽立) 杉淵茂元(天王) 天王本郷火災予防組合(鎌田堅治郎組合長) 桜庭喜六(塩口) 伊藤清勝(江川) 菅生重勝(渋谷)

## 20日に9人制バレーボール

### バレーボール協会と体育協会

町バレーボール協会と体育協会は、二月二十日の日曜日午前九時三十分から、天王中体育館で「九人制バレーボール大会」を行います。

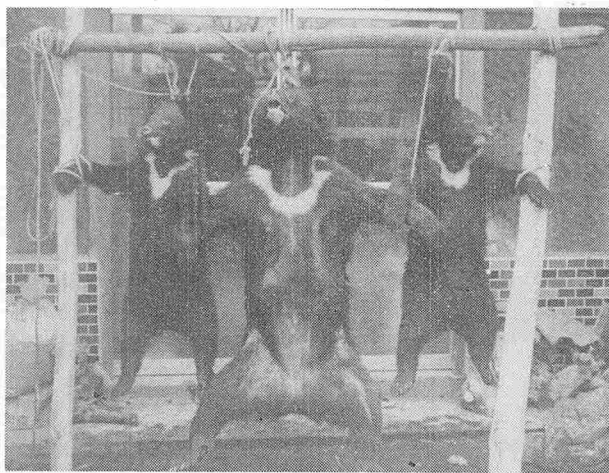
この大会は、健康なからだによりよい人間関係をつくり、たくましい行動力と創造力を養うために行なわれるもの。

大会要項は次のとおり

- 【チーム編成】資格は、男子、女子とも町内に居住している人で満十五歳以上。ただし、高校、大学生は四名以内に限られている。
- 正選手は一チーム九名で、補欠三名、監督一名の計十三名とす。

## “クマ”を射止める大手柄

◎本町では初めて◎



大崎の三浦さん宅の前にクイにゆわえられた親子グマ

大崎の三浦金作さん(五十五歳)と二田の三浦甚喜さん(二十九歳)は、一月十一日午後一時半頃、井川村で親のメスグマ

### にぎわった十七回大会

家庭バレーボール大会は、十七回家庭バレーボール大会が、一月十五日の成人の日に町公民館体育館と天王中体育館の両会場で行なわれ、男子は一部が大崎、二部天王、女子は一部が二田新町、二部二田がそれぞれ栄冠を勝ちとった。

今日大会は、新しい試みとして、三十歳未満と三十一歳以上とを二部に分けて、固定したバレー人口とバレーの底辺拡大を図った。

当日参加したチームは三十一歳以上で、懸命にボールを追いかけて、両会場とも終日にぎわった。

- 【男子】
  - ◎一部 ①大崎 ②出戸新町

一頭、子グマ二頭の合わせて三頭の子グマを射止めた。

このお手柄は、三浦さん二人が、昨年井川村の大台付近でクマが出没しているという話を聞き込み、十一日の朝から出かけたもの。その日はまず、点々と残っているクマの足跡を見つけて、それをたよりに追いかけていったところ、お供した猟犬(愛称グマ)が九十kgもある大きな月の輪グマを発見、グマが親グマと格闘、その間に10m手前から二人で実弾二発でしとめた。さらに、親グマと連れ歩いていた子グマ二頭も四発でしとめられた。

二人は、猟友会のメンバーで狩猟歴も古い。当時のようを「子グマと一語だったので近づけなかったが発見した時は、もう夢中で引き金を引いた。本町でもクマを射止めたのは初めてと思うが、最近では南秋でも射止めた話は聞いたことがない」と自慢そうに語ってくれた。

また「ズット前から二人はハンター仲間狩猟を続けてきたが、これからの期間中は、どんどん獲物を打ち続ける」と目を輝かせながら結んだ。

- ◎二部
  - ③三軒屋
  - ①天王 ②二田 ③追分

- 【女子】
  - ◎一部 ①二田新町 ②塩口
  - ③天王
  - ◎二部 ①二田 ②見玉 ③上出戸

- ◎一部
  - ①二田新町 ②塩口
  - ③天王
- ◎二部
  - ①二田 ②見玉 ③上出戸

